

通信小海

「良くなりたいか。」

牧師 荒初 実
あらかみ まこと

38年間、病に苦しんでいる人に対してイエス様はおっしゃいました。「良くなりたいか。」この人は、生まれつきの病気で、ずっと横になって歩くことができなかったのか、人生のある時期からそうであったのか、何歳であったのかも分かりません。ただ、彼はベテスダと呼ばれる池のそばですつと癒される日を待ち続けていたのです。その池の水が主の使いによって掻き回される時、一番最初に入った者が癒されるという伝説を信じる人々がそこに沢山いました。その中からイエス様は彼を選ばれ「良くなりたいか」と問われたのです。一見、この問いは残酷な

「今月のみ言葉」 「神に近づく者は、神が知られることと、神がご自分を求める者には報いてくださるお方であることを信じなければならぬのです。」
ヘブル 1:6

響きさえ感じる言葉です。しかし、すべての人の心のうちをご存知であるイエス様は、病の人が本気で良くなりたいと願っているのか、健康な体を取り戻し、自分で働いて生きて行く決意があるのか、彼自身の意志と覚悟を確認する機会をお与えになったのです。

これは私たちにも問われていることです。自分が今直面している状況が改善されることを本気で望んでいるか。その願いは本心からか。もしかしたら半信半疑で求めていることはないか。真剣に考えてみなければなりません。イエス様から問われた人は、38年間も病人として生きて来ましたが、今まで働くことなく、施して生計を立て、受け身で生きることが当たり前になっていたかも知れません。心のどこかで今のままの状態で生きることの方が健

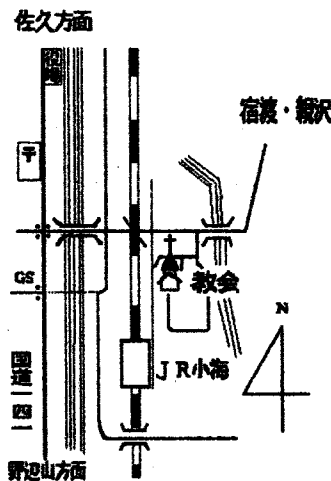
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一一〇二 TEL 0267・88・7169

干振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前10時から11時半

夕礼拝 午後8時から9時

金曜日 聖書の学び 午後8時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

*当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

康な体を与えられ、自分で働いて賃金を得て生活するよりも、楽で安全で安定しているのではないかと計算していた部分があったかも知れません。イエス様の問いに、彼はすぐに「はい」と答えず、言い訳をします。しかし、彼はイエス様に問われることで、自分の本当の願いが何かを考えさせられたのです。そして、イエス様が彼に「起きて床を上げ、歩きなさい。」と言われると、彼はすぐに治って、立ち上がり、床を上げて歩き出したのです。彼自身でどう生きたいのかを決断し、主の言葉に応答した時、癒しの御業に神の栄光が現されたのです。

私たちも問われています。今の状況から新しい世界へチャレンジする意志があるか。イエス様だけを信頼して神と共に生きること願っているか。

勇気を出して新しい一歩を踏み出すようではありませんか。そこに、受け身のままで味わうことのできない生きがいと驚きと感動のある日々が始まるのです。

新連載

聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅 【著】

第一章・洋上に浮かんでいた聖書

⑤

キリスト教の宣教師たちは、表向きは、フルベツキのように英語教師として、あるいは横浜にいたヘボン博士のように医師として、幕末維新の日本に貢献したのです。もちろん、彼らは本来の目的を忘れたわけではありませ

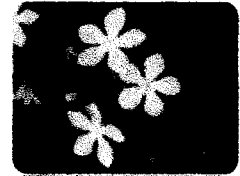
ありません。キリスト教が禁じられている状況の中でも、何とか聖書の真理を伝えようと涙ぐましい努力をしていました。また、それに呼応して、道を求める日本人はいましたし、不思議な聖書との出会いもあったのです。しかし、それは例外的で危険をとまなうことでもありません。

長崎にいたフルベツキは英語教習所の教師として働きます。一八六三（文久三）年には、長崎奉行所管轄の英学所であった済美館の教師に招聘され、次いで一八六六（慶応二）年には、佐賀藩が長崎に設けた藩校の一つで英語教習所である致遠館の教師にも選ばれました。特にこの学校は、大隈重信、副島種臣が中心になって同志を集め創立された学校で、フルベツキはここで、英語の他に、新約聖書、万国公法、科学、数学なども教えました。

当時はクリシタン禁制の世です。聖書を教えるのも大丈夫だったのかと疑問を持たれるかもしれません。しかし、佐賀藩の場合、藩主鍋島直大が西洋文化の擁護者であり、世界に大きく開かれた心の持ち主だったということもあり、聖書の学びは不問に付されたようです。後に、藩主自身が聖書を求め、フルベツキは漢語聖書を贈っています。

ニチニチソウ

日日草・日々想



子どもの写真

「また言い過ぎちゃったな」と落ち込む……「日々、反省……」子育て中のお母さんとの会話の中で、よく聞くフレーズです。もちろん、可愛い我が子と過ごす時間を心から楽しんでいる一瞬一瞬があることも事実なのですが、なかなか思い描く通りには上手くいかないのも本当のところだと思えます。私自身も「同じく」といつも共感してしまいます。

「親が子にイライラする時、大概、2〜3歳大きく見て言ってしまったている」「子育て中のストレスは、日常の物事が完結しないことからくる」と聞いた時、本当にそうだなあと心から

納得したのを覚えています。後から振り返れば、その時期の子どもの出来ないことや、泣いたり怒ったりすることは、年齢相応で当たり前のことなのに、大人の感覚で理解することや受け入れることを求めている、幼い子どもがいて、自分のすべきことを予定通りに進められないで無理で当然なのに、やろうとした瞬間に何かが起こったり、十分に終わらせられないままになることが続いたり重なったりすると、ついイライラしてしまっているのです。

そんな時、子どもの写真を見ると、心がふつと和むことがあります。そして、今より小さい頃の写真を少し前……もう少し前……と時間を忘れて見入っていくうちに、懐かしさでいっぱいになり、「なんだかんだ言ったって、やっぱり……」と心の底から可愛いと思える愛おしさがいみがえってくるのです。

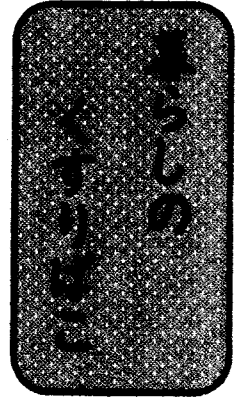
それと同時に「あんなに悩んで葛藤していたけれど、それほど悩む必要もなかったかな」とか、「なんでもつと余裕をもつて受け止めてあげられなかったん

だらう」「なんだか、いくつも上の子に求めるようなことを言って、引つ張るようにしてこの時期を過ごしてしまったかもしれないな……」と、挙げればいくつも出てくる反省の数々に、申し訳なさや後悔に似た、ちよつぱり複雑な気持ちにもなります。けれどもやっぱり、写真に写っている我が子の姿、笑顔を見ると辛せな気持ちになるのです。その時々、自分自身も必死で精一杯で、泣いたり怒ったり失敗もあるけれど、でも一生懸命向き合っていて過ごしていたということを思い返しながら、自分を励ましてあげる時間も必要だと思えます。

聖書は「見よ。子どもたちは主の賜物」と、神様が与えて下さった本当に尊い存在であると語ります。他のことでは得られない幸せを与えてくれる子どもの存在は、まさに宝物なのです。

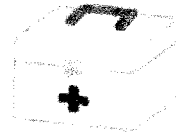
秋の夜長に、アルバムを開いて子どもの写真をじっくり見ながら、優しい気持ちや温かい気持ちになる幸せを思い返す静かな時を大切にしていきたいと思うのでした。





《今月の処方箋》

◆そば「ルチン」パワー◆



待ちわびていた新そばの時期。そば処
信州に来て、「お蕎麦って美味しいな」
と心から思います。

美味しいだけでなく健康食としても昔から愛されてきたお蕎麦。江戸時代に出版された本には「そばを食べると気持ちがおだやかになる」「そばは胃腸の働きを良くし、便秘を良くする」と書かれているそうです。現代では、そばの栄養成分や健康効果が科学的にも証明され、情報としてご存知の方がほとんどであると思いますが、特にそばの栄養素として有名な「ルチン」に注目して、改めてお伝えさせて頂きます。



ルチンには、毛細血管を強く丈夫にする働きがあり、弾力がなくなり、破れやすくなった血管を修復して血液の流れをスムーズにする作用や、血圧降下作用などもあります。このため、

- ◎「高血圧予防」
 - ◎「動脈硬化・心筋梗塞・脳卒中予防」
 - ◎「血中コレステロールの低下」
 - ◎「冷え性や肩こりの改善・疲労回復」
 - ◎「肌荒れや頭皮環境の改善」
- などに効果があるといわれています。

また、ルチンはポリフェノールという栄養素の一種で、とても強力な殺菌作用があります。そのためルチンを多く含む蕎麦やそば茶を摂取することで、免疫力強化・風邪予防も期待できます。

ルチンはビタミンCと同時に摂取するとさらに効果的に働くので、野菜や果物と一緒に食するのがおすすめです。

体に良い効果がたくさんあるルチンを含む蕎麦は、反面、アレルギー反応により微量でもアナフィラキシーショックなど重篤な症状を引き起こしてしまう食品です。特に小さなお子様の食始めには十分注意をしましょう。

『信濃のフードバンク』山谷(やま)農場

山谷農場収穫感謝祭

食料の送り先である複数の困窮者支援団体のうち、5団体の関係者らが会場に集まり、活動の近況などを紹介します。

◆十一月九日(土)午前十一時～午後三時半

◆小海町松原の松原湖バイブルキャンプ場(松原湖スケートセンターの下)

◆参加無料。申し込み不要。無料駐車場有。

◆参加を予定する団体(五十音順)

①カトリック東京国際センター(東京都文京区)：難民および難民認定申請者らを支援

②カラカサン(移住女性のためのエンパワメントセンター(川崎市幸区)：フィリピンなど外国籍のシングルマザーらを支援

③八王子ダルク(東京都八王子市)：薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症者の自助施設

④藤岡ダルク(群馬県藤岡市)：同右

⑤はるな生活協同組合(群馬県高崎市)：地域の路上生活者らを支援

〈連絡先〉 藤田寛

やま農場事務局 ☎090-1436-6334

または、同農場のフェイスブックページで